

中央環境審議会  
自然環境・野生生物合同部会

## 鹿島の生物多様性保全への取組み

- 持続可能な建設事業をめざして -



 KAJIMA CORPORATION

2007年2月26日

## 発表内容

1. はじめに
2. 建設業と生物多様性
3. 鹿島生態系保全動指針について
4. 具体的取り組み
5. 今後の課題など

## 建設業の環境への取り組み

-真に快適な環境形成のために-

- ◆ 鹿島（総合建設業 / ゼネコン）の事業内容
  - ❖ 建築事業(70%)、土木事業(24%)、開発事業(6%)
  - H18年度売上：1兆7752億円（連結）
  - ❖ 従業員数：約9234人（事業所数：1750ヶ所）

### ◆ 鹿島の環境への取り組み

環境特性：資源多消費、長期の運用、自然と人間の接点

重点4課題

取り組みの視点

- ・ 温暖化防止
- ・ 資源循環
- ・ 有害物管理
- ・ 生態系保全

- ・ 事業活動に伴う環境負荷の低減  
(廃棄物削減、省エネ施工、生態系保全  
etc.)
- ・ 環境と共生する持続可能な社会の形成  
(省エネ化・長寿命化、自然再生etc.)

生物多様性保全の取り組み



## 生物多様性への取組み背景

建造物は大規模、長期存続  
建設事業は直接的に地域改変

↓  
生物多様性との係わり大

生物多様性・生態系保全に貢献できる可能性が高い

【リスク管理】：建設事業により生物多様性を損なわない

- ◆ 発注者・社会の信頼確保
- ◆ 事業の遅延、環境修復に伴う経済的な損失の回避

【付加価値向上】：生物多様性を保全し付加価値を向上

- ◆ 顧客に対するサービスの拡充
- ◆ 自然再生事業など生態系関連分野の受注
- ◆ 鹿島のブランドイメージの向上

生物多様性保全の取組み



# 生物多様性に関するリスク管理

## 1. 工期延長、工費増大リスクの回避

法面吹付工で問題のある外来種子を採用

外来種子に関するリスク情報を提供し事前検討



## 2. 無駄な投資の回避

ビオトープに異なる地域のゲンジボタルを移入し地域固有種を攪乱

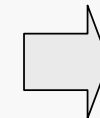
ガイドラインを設け事業推進や移入可否を検討



## 3. 機能の劣化リスクの回避

両生類の移動経路を確保する為のアンダーパスが構造に問題があり逆に生息数が減少

各種専門家を交えた十分な検討、モニタリングを通じた順応的な対応



## 生態系サービス（付加価値向上）

- ◆ 住民に緑地と生物多様性の情報を与えると、生物多様性の高い緑地を景観的にも好むようになる。（ヘルシンキ大学の研究）
- ◆ 森林浴の効果「鳥や虫の種類が多く、規模が大きく樹種も豊かな森林ほどリラククス効果が大い傾向があった」（森林総研）
- ◆ 中長期的な国際競争力 > 将来的に日本が住みたい国であるか？（ex.清溪川21世紀文化環境都市ソウル）



生物多様性保全の取り組み



## 生態系保全行動指針（2005.8）

### ◆ 基本理念

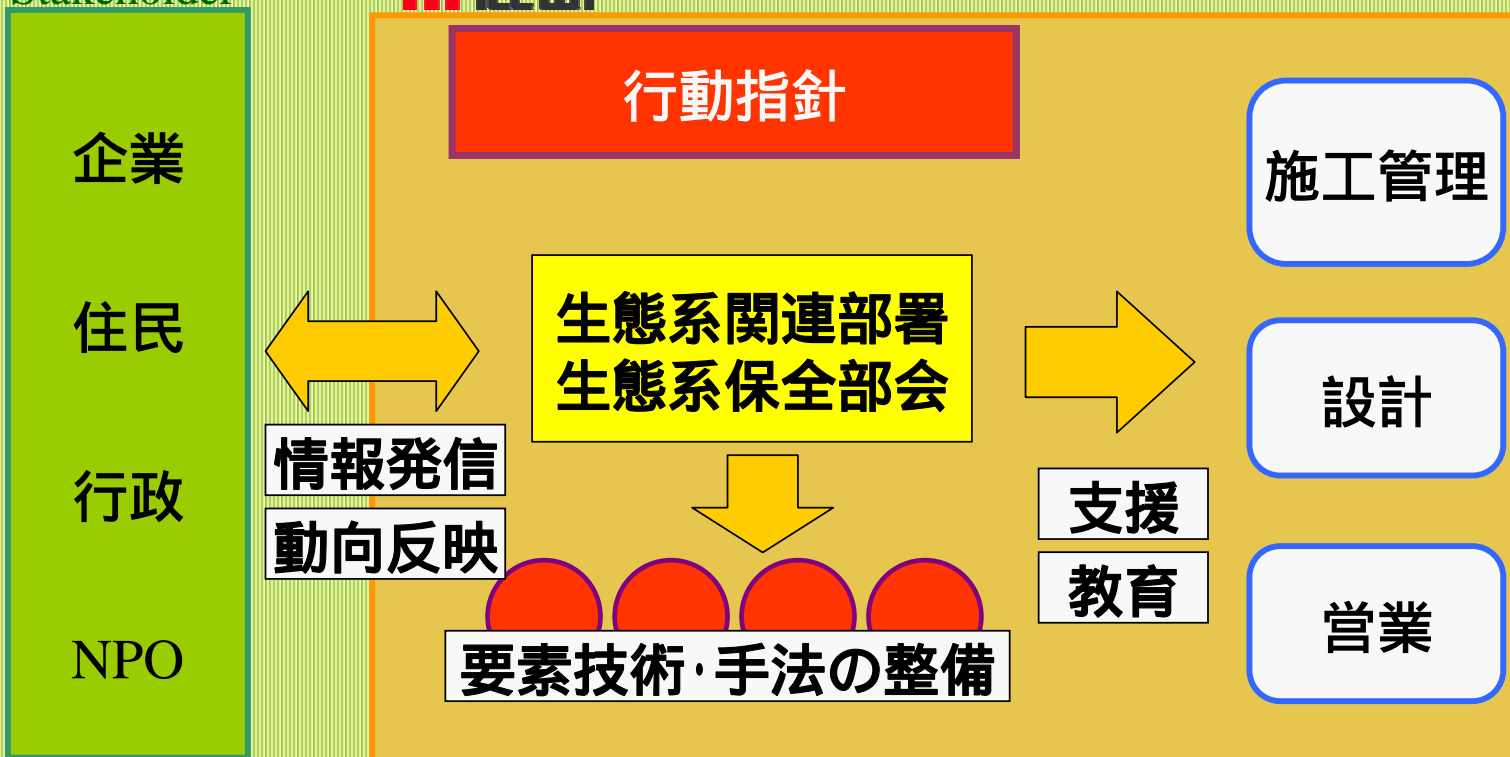
生態系保全は社会的使命を実現するための重要課題  
社会・顧客および当社の持続的な発展

### ◆ 行動指針

1. マネジメントシステム / 生態系保全は重要課題
2. コンプライアンス / 法令遵守・関連政策、社会的要請
3. 教育 / 社員の認識向上
4. 建設事業における取組み / 情報・技術を活用した提案、工事
5. 研究開発 / 技術的知見の集積、研究・技術開発推進
6. 社会貢献 / 市民活動、ボランティア、学協会への協力

# 生態系保全行動指針の位置付け

Stakeholder



生物多様性保全の取り組み

KAJIMA CORPORATION

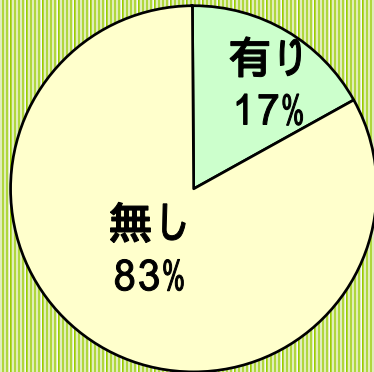




具体的取組みについて

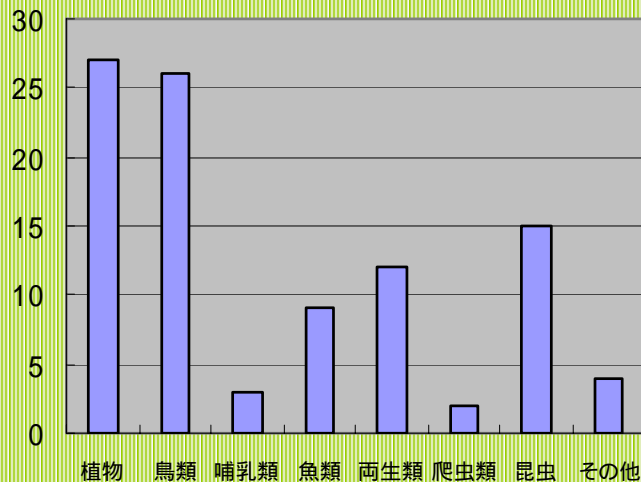
## EMSへの組み込み

生物への配慮を指示された現場比率



サンプル数：  
286現場(土木)

保全対象生物種



### 環境管理計画書へ生態系項目追加

配慮生物の有無  
生物種の特定  
対応方策の立案

- ・ 保全方針
- ・ 監視、測定
- ・ 工期、工法、範囲の見直し
- ・ 水質、騒音、振動対策
- ・ 作業員教育 等

### 緑化工事

- ・ 特定外来種の確認

\* 提案・設計に関しては

「環境配慮設計チェックシート」にて運用中

生物多様性保全の取り組み



# 生態系情報管理システムの整備

## 生態系情報管理システム

新規登録はこちら

Ver 1.1  
最終更新日 2006/12/

初期画面へ

法令制度検索

技術検索

業務名称検索

文献検索

連絡先一覧

業務終了

### 初期画面

生態系情報管理システムは、鹿島建設の生態系関連情報案内・交流サイトです。

\* 生態系に関わる情報の中で知りたい項目を選択してください。

- \* [法令制度](#) ... 環境に関わる法律や条令など
- \* [技術](#) ... 鹿島で保有する技術やノウハウなど
- \* [業務名称](#) ... 実際に施工、提案した事例など
- \* [文献](#) ... コスト情報や報告書、参考文献など

\* フリーワード検索はこちらから

フリーワード検索

※修正が必要なデータがあれば各担当者に連絡して下さい

[ 新着 Eco Q&A ]	<>内は回答数	利用方法	質問投稿
10/19		外来緑化植物の取り扱いに関するセミナー聴講報告<0>	
8/24		文献登録方法に関する要望<1>	
5/12		文献設置場所のお願い<1>	
2/24		詳細画面に表示される、「概要」の表示文字数について<1>	
2/23		システム起動用ショートカット<1>	
2/23		概要に登録可能な文字数上限とその表示について<0>	
2/17		フリーワード検索について<2>	
2/16		「壁面緑化技術」と「壁面緑化」について<1>	
2/10		技術名称の変更について<1>	
12/21		投稿テスト<0>	

更新情報		
01/31	【更新】<文献>	<a href="#">2005年 第15回環境大賞</a>
01/31	【登録】<文献>	<a href="#">屋上緑化設計・施工指針及び解説(屋上緑化)</a>
01/31	【登録】<文献>	<a href="#">ボンテラ・水辺/湿地緑化製品 多自然型</a>
01/31	【登録】<文献>	<a href="#">壁面緑化ガイドライン【概要版】</a>
01/31	【登録】<文献>	<a href="#">壁面緑化ガイドライン</a>
01/31	【登録】<文献>	<a href="#">ヒートアイランド対策ガイドライン</a>
01/31	【登録】<文献>	<a href="#">2001年制定 環境負荷低減型土木構造物</a>

\* [データ更新履歴](#)

問合せ先

・ [ITサポートセンター\(総合・土木\)](#)  
内線番号：81-23400

生物多様性保全の取り組み





## 生息地復元技術

- ◆ 生息地の再生+モニタリング
- ◆ 発注者支援（環境教育関連資料作成など）
- ◆ 根株移植（遺伝資源保全）
- ◆ 造園材料として出回っていない樹木の保全



## 生態系解析技術

- ◆ 都市再生事業（住宅団地整備）における緑地整備
- ◆ GISを活用した生息域解析
- ◆ シジュウカラ（益鳥）は6万匹/月害虫を食べる。

\* この他、アサリを指標生物とした人工干潟評価事例等がある。



## 多自然型護岸による地域環境再生

- ◆ 沿岸域生態系におけるカニの重要性に着目
- ◆ コンクリートでカニの生息できる護岸を再生
- ◆ 地域再開発のシンボルとして活用

生物多様性保全の取り組み



## 今後の行動指針の展開

### 次年度の活動

#### ◆ 教育

- ❖ 社員への生物多様性への認識の浸透（自然から学ぶ）

#### ◆ 社会貢献

- ❖ 自治体、NPOとの連携（出前環境教育etc.）

### 継続的な活動

#### ◆ 建設事業における取組み

- ❖ 生態系サービスや優良プロジェクトのPR
- ❖ 話題作りから建設事業の必須要素へ



生物多様性の価値を社会全体で共有

ご静聴、有難うございました

END

生物多様性保全の取り組み

